



2022  
vol.4

# 赤十字しが

1922 2022

青少年赤十字は今年で100周年を迎えます。  
1922年5月に滋賀県内で誕生した青少年赤十字が全国へと広がっていきました。



## Contents

しがの赤十字活動レポート ～令和3年度滋賀県支部この1年～

令和3年度日本赤十字社滋賀県支部 決算のご報告

新型コロナウイルス感染症に対する赤十字の動き（滋賀県支部編）

もしもに備えて ～ロケットストーブってなんだろう～



日赤滋賀県支部  
WEBサイト



Instagram  
始めました!

# しがの赤十字活動レポート

～令和3年度滋賀県支部この1年～

## 4月 「備える」ために必要な点検とスキルアップを

～赤十字防災ボランティア研修会を開催～

災害救護活動は、赤十字職員だけで乗り越えることはできません。滋賀県支部には、災害発生時に赤十字が行う活動を支援することを目的としたボランティアが組織されています。

研修会では、災害用エアテントの設営や救護トラックのゲート操作、物資輸送の手順の確認、無線通話など資機材の点検を兼ねた実践的な研修を行いました。



## 5月 「赤」十字運動月間」キャンペーン

～彦根市で啓発活動を実施～

日本赤十字社では、日本赤十字社の前身である「博愛社」が創設された日に加え、赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生日でもある5月を「赤十字運動月間」として、より多くの皆さまに赤十字の理念や活動の普及とご協力を呼びかけています。

滋賀県支部でも、彦根市夢京橋キャスルロードにおいて赤十字フラッグを掲揚し、赤十字の「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動への理解の促進に努めました。



## 6月 「災」害救護に対する知識や技術の習得のために

～医療救護班研修会を開催～

災害救護活動についての理解を深め、医療救護班の役割や責任を明確にし、知識および救護資器材の使用法を習得することを目的に、医療救護班研修会を開催しました。

研修会では医療救護班としての基本的な知識をはじめ、無線機、衛星電話などの救護資器材の使い方などを学びました。

災害はいつ起こるかわかりません。コロナ禍でも各赤十字病院では、平時から日本赤十字社の救護班要員である自覚を持って、研修や訓練に臨んでいます。



## 7月 「地」域で活躍する赤十字ボランティアのリーダーを養成

～赤十字奉仕団副委員長研修会を開催～

滋賀県支部では、赤十字の理念に賛同し、地域で活動する赤十字奉仕団の養成に取り組んでいます。今回の研修会は、県内赤十字奉仕団50団の副委員長を対象に、2年ぶりに開催しました。

副委員長らは、組織強化についての講義や全体討議を通して、副委員長に期待される役割を確認しました。これから、各地域の団員を率いて、活発な奉仕活動を展開していきます。



## 11月 「親」子でたのしく学ぶ防災

～学校参観日に防災学習を実施～

滋賀県支部では自治会や学校などに出向き、災害への備えや身近なものを備えた応急手当、非常食づくりなどの防災学習を行っています。

甲賀市立甲南第三小学校では学校参観日にあわせて、防災倉庫の資材点検や防災グッズの紹介、新聞紙を使ったスリッパの作成などの防災学習を実施し、家族で防災についての学びを深めました。



## 12月 「感」染症から誰も取り残さないために、私たちにもできることがある

～「NHK海外たすけあい」キャンペーン募金活動を実施～

毎年12月1日から25日まで、日赤とNHKが共同で行っている「NHK海外たすけあい」では、“感染症から誰も取り残さない。”をテーマに、世界中で苦しんでいる人々を救うため、そして、感染症の脅威から世界を守ることを目的として実施しました。

青年赤十字奉仕団・大津赤十字看護専門学校学生奉仕団が12月19日(日)にJR石山駅で行った街頭募金では、たくさんのご支援をいただき、参加したメンバーからは「やりがいを感じました」との感想が寄せられました。



## 2月 「い」のちを救うために私たちができること

～救急法基礎講習会を開催～

赤十字では、日常生活における事故防止の知識と思わぬ事故や災害にあつた人に対して、医師や救急隊員に引き継ぐまでの救命・応急手当を学ぶことができます。

滋賀県危機管理センターで開催された救急法基礎講習会では、県内から9名の応募があり、心肺蘇生法や自動体外式除細動器(AED)の使い方、気道異物除去などの救命手当を学びました。



### 滋賀県は青少年赤十字活動発祥の地

1922年(大正11年)5月5日、滋賀県野洲郡守山尋常高等小学校(現在の守山市立守山小学校)で我が国最初の青少年赤十字が誕生しました。続いて6月16日には伊香郡12か町村(現在の長浜市)の小学校児童1,900余名が全国で第一番に「少年赤十字団」を結成しました。

赤十字のやさしさや思いやりの心を持った子どもの育成を目的として脈々と活動が引き継がれてきました。

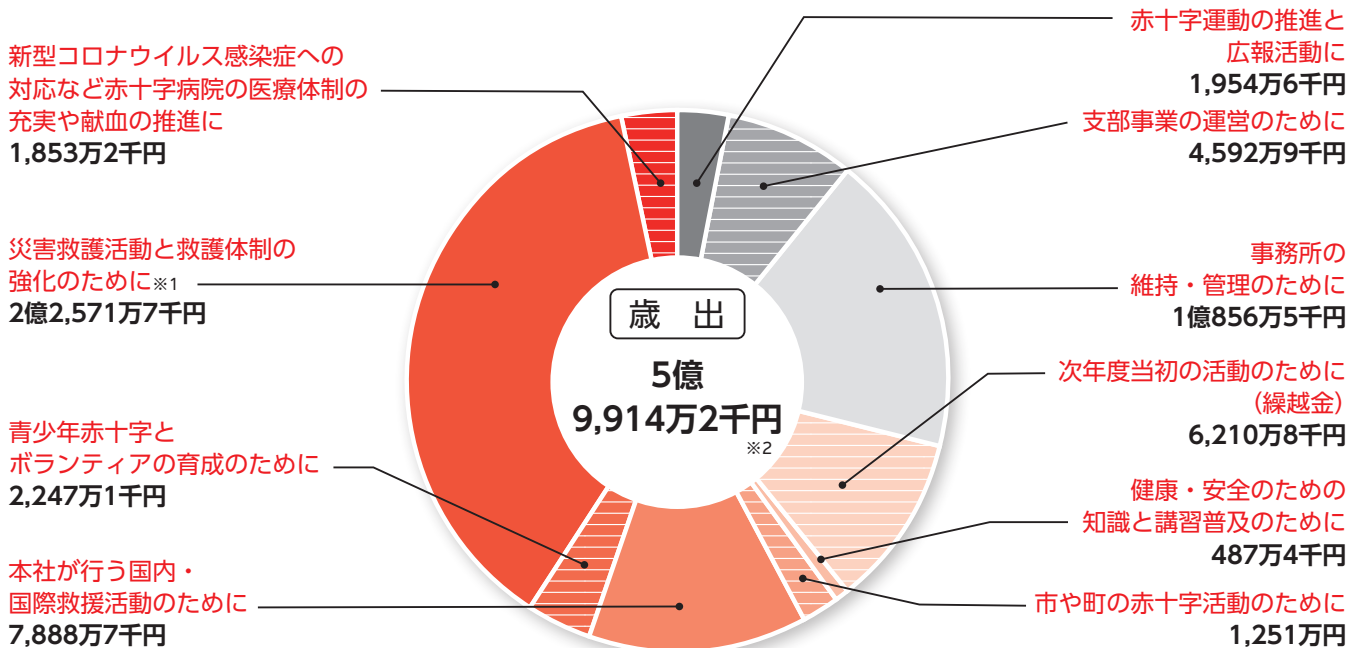
歳入

活動資金収入 …… 5億3,354万9千円  
その他の収入 …… 6,559万3千円

歳入合計 …… 5億9,914万2千円

歳出

5億  
9,914万2千円  
※2



※1 災害対応等に備えるための積立金を含みます

※2 千円未満を切り捨てているため、円グラフの合計金額と各項目の合計金額は一致しません

活動資金ご協力法人・団体のご紹介

日本赤十字社滋賀県支部の活動は、皆さまのご支援に支えられています。  
活動資金のご協力、誠にありがとうございます。

- 株式会社 一色製作所
- 有限会社 岡田工業
- 一般仮設足場レンタル業北村
- 株式会社 滋賀重量
- 中央環境サービス 株式会社
- 株式会社 東洋石創
- 株式会社 西寄組
- 花文造園土木 株式会社
- 株式会社 濱崎銃砲火薬店
- 株式会社 ライフリリーフ
- 一般財団法人 滋賀県民間福祉振興財団
- 株式会社 久木野工務店
- 株式会社 セレマ
- 甲賀高分子 株式会社
- ルミフィールドジャパン 株式会社
- 医療法人社団 久我内科医院
- 株式会社 近江潜建
- 有限会社 天平フーズ
- 熊谷電工 株式会社
- 医療法人信耳会 西大津耳鼻咽喉科
- 医療法人信耳会 増田耳鼻咽喉科医院
- 有限会社 三王都市開発
- 有限会社 CN産業
- 森脇酸素 株式会社
- 株式会社 ワダケン
- 日星自動車 株式会社
- 株式会社 高山
- メニックス 株式会社
- 株式会社 ヤサカ
- 田中シビルテック 株式会社
- 有限会社 鶴美
- 株式会社 マンアップ
- 浜エンジニアリング 株式会社
- 株式会社 中島電業所
- 日本ソフト開発 株式会社
- ジブラルタ生命保険 株式会社
- 株式会社 大垣共立銀行
- 近江ユニキャリア販売 株式会社
- 有限会社 彦根サッシセンター
- 有限会社 巨東電設
- 三須税理士法人
- 滋賀TCM 株式会社
- 滋賀県中小企業青年中央会
- 滋賀県税理士共同組合
- 株式会社 メディカルウェイストシステム
- 有限会社 須戸電設
- 有限会社 川端電工社

※令和3年度中に5万円以上の活動資金をお寄せいただき、掲載をご了承いただいた法人・団体様のみ掲載しております。(敬称略・順不同)  
上記以外に46社・団体の皆さまからもご支援をいただきました。

## 人々のいのちと健康を守るために

### 赤十字病院での感染者等の受入れ

大津・大津志賀・長浜の各赤十字病院では、厚生労働省をはじめ各行政機関からの要請に応じ、帰国者・接触者外来の設置や感染者等の受入れ等、いのちを守る最前線で医療活動を続けています。



受入患者数（累計）：12,996人

（入院は陽性者のみ、外来は疑い含む  
令和4年4月10日現在）



### 地域赤十字奉仕団がワクチン接種のお手伝い

新型コロナウイルスワクチン接種会場で、現在22団の赤十字奉仕団がさまざまなお手伝いを実施しています。

活動する奉仕団員は、「少しでも不安を和らげられたら」「スムーズに接種が進むように」という思いで、会場内外での誘導や受付補助など、日々活動を続けています。



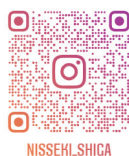
活動人数延べ 2,423人

（令和4年4月30日現在）

## 令和3年度 新たな広報活動のご紹介

### Instagramアカウントの開設

幅広い年代の方に赤十字の活動について知っていただくことを目的として、Instagramアカウントを開設しました。わかりやすく赤十字活動をお伝えします！ぜひフォローをお願いいたします。



NISSEK.SHIGA

### 地域赤十字奉仕団 特設サイトの開設

広く県民のみなさまに奉仕団活動を知っていただき、奉仕団への入団促進や、取り組み事例の共有による活動の活性化を図ることを目的として「地域赤十字奉仕団特設サイト」を開設しました。

各団の特色ある取り組みを掲載しています。





# もしもに備えて



～ロケットストーブってなんだろう～

ロケットストーブとはシンプルな構造ながら高温で燃焼し、コンロや室内の暖房として使うことのできる手作りストーブです。災害時の備えの一例としてご紹介します。



## 特徴

- 1 高い温度で燃焼するため、煙も少なく、少ない燃料で使用できる。
- 2 化石燃料がなくても、木っ端など身近にあるもので高い火力が得られる。
- 3 女性でも持ち運びがしやすい。

## 私たちが備えています！

ロケットストーブを使って非常食作りもしています！



今後台数を増やして各自治会に1つ設置できるよう頑張ります！

写真：高島市マキノ赤十字奉仕団  
高島市新旭赤十字奉仕団

講習会のお問い合わせ先  
赤十字奉仕団高島市地区委員会  
0740-25-8120（高島市役所社会福祉課内）

